

議員全員協議会会議録

令和 5 年 12 月 15 日

宮 古 市 議 会

令和5年12月宮古市議会 議員全員協議会会議録目次

(12月15日)

議事日程	1
出席議員	2
欠席議員	2
議会事務局出席者	2
開 会	3
説明事項(1)	3
閉 会	12

宮古市議会議員全員協議会会議録

日 時

令和5年12月15日（金曜日） 午後2時50分

場 所

議事堂 議場

○

事 件

〔説明事項〕

（1）物価高騰対策支援事業について

出席議員（22名）〔議席番号〕

1番	畠	山	智	章	君	2番	田	代	勝	久	君	
3番	古	舘		博	君	4番	中	嶋	勝	司	君	
5番	今	村		正	君	6番	白	石	雅	一	君	
7番	木	村		誠	君	8番	西	村	昭	二	君	
10番	小	島	直	也	君	11番	鳥	居		晋	君	
13番	伊	藤		清	君	14番	高	橋	秀	正	君	
15番	工	藤	小	百	合	君	16番	坂	本	悦	夫	君
17番	長	門	孝	則	君	18番	落	合	久	三	君	
19番	松	本	尚	美	君	20番	田	中		尚	君	
21番	竹	花	邦	彦	君	22番	橋	本	久	夫	君	

欠席議員（0名）

説明のための出席者

〔説明事項〕（1）

総務部長	下島野	悟	君	企画部長	多田	康	君
エネルギー・環境部長	三上	巧	君	市民生活部長	若江	清隆	君
保健福祉部長	佐々木	雅明	君	産業振興部長	岩間	健	君
都市整備部長	藤島	裕久	君	上下水道部長	中嶋	剛	君
危機管理監	芳賀	直樹	君	教育部長	佐々木	勝利	君
企画課長	箱石	剛	君	財政係長	山本	恭彦	君
地域創生推進室長	工藤	真奈美	君				

議会事務局出席者

事務局長	前田	正浩	次	長	前川	克寿
主査	南舘	亜希子				

開 会

午後2時50分 開会

○議長（橋本久夫君）

それでは、ただいまから議員全員協議会を開会いたします。ただいままでの出席は20名でございます。会議は成立しております。本日の案件は、説明事項1件となります。

○

説明事項（１）物価高騰対策支援事業について

○議長（橋本久夫君）

それでは、説明事項の１、物価高騰対策支援事業について説明をお願いします。下島野総務部長。

○総務部長（下島野悟君）

はい。予算特別委員会に引き続きまして、どうぞよろしくお願いいたします。本日は、物価高騰の影響を受けております生活者及び事業者を支援するために、実施を予定しております物価高騰対策支援事業につきまして、既に12月定例会議の初日に議決をいただきました低所得世帯への支援も含め、国の臨時交付金を活用して実施する事業等の概要を、これから御説明いたします。事業の概要につきましては、箱石企画課長が御説明いたします。

○議長（橋本久夫君）

箱石企画課長。

○企画課長（箱石剛君）

はい。それでは私のほうから資料に沿って説明をいたします。申し訳ございませんが着座で説明させていただきます。

それではページをめくっていただきまして、2ページを御覧願います。まず初めに、国から交付されます物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金について御説明をいたします。国の補正予算の成立に伴い、このたび交付されます臨時交付金は、新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行したことにより、名称も物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金と変更となり、活用事業につきましても、コロナとの関連性を要しないこととなりました。今回の臨時交付金は、大きく二つに分かれており、一つが低所得世帯支援枠、いわゆる非課税世帯への7万円給付。もう一つは前回同様、物価高騰の影響を受けた生活者や事業者に対する支援として、推奨事業メニューが示されているものでございます。宮古市への交付限度額は、低所得世帯支援枠が、事務費含みで4億304万2000円、こちらは令和4年度の子育て世帯等臨時特別支援事業による支給世帯数の8割で算出した概算額となっており、最終的には実績で精算されるものとなっております。

また、推奨事業メニュー分は1億4742万円で、こちらは現時点では、これ以上の追加の予定はございません。3ページを御覧願います。推奨事業メニューの内容につきまして、御説明をいたします。推奨事業メニューは、生活者支援と事業者支援のそれぞれ四つ、計八つのメニューで構成されます。まず、生活者支援は物価高騰に伴う低所得世帯支援、子育て支援、消費下支え等を通じた生活者支援、省エネ家電等への買い替え促進による生活者支援の四つでございます。

4ページを御覧願います。事業者支援は、医療・介護・保育施設、学校施設、公衆浴場等に対する支援、農林水産業における支援、中小企業等に対する支援、公共交通・物流や観光業等に対する支援の四つでございます。

5ページを御覧願います。ここからが、令和5年度に実施する事業について、今後実施を予定している事業、現在実施中の事業、既に実施済みの事業について、県の事業も含めて、推奨事業のメニューごとにまとめたもの

でございます。

まず、生活者支援の①エネルギー・食料品価格等の物価高騰に伴う低所得世帯支援でございます。上段の2件、市が実施いたします物価高騰対応重点支援給付金支給事業は、低所得世帯支援枠として非課税世帯、推奨事業メニューとして生活保護世帯、家計急変世帯に対し1世帯当たり7万円を給付するもので、12月定例会議の初日に予算を議決いただいたものでございます。その下、福祉灯油購入助成事業につきましても、追加支給分を12月定例会議の初日に予算を議決いただいたものでございます。

その下の2件は、既に予算計上済みで、実施中の事業でございます。6ページを御覧願います。次に、②エネルギー・食料品価格等の物価高騰に伴う子育て世帯支援でございます。こちらにつきましては、全て予算計上済みで、実施中の事業でございます。7ページを御覧願います。次に、③消費下支え等を通じた生活者支援でございます。1件目の県事業は、賃上げした中小企業に対し、従業員1人当たり5万円、最大20名分100万円を支援する県事業でございます。2件目は、地域内経済循環促進事業、いわゆるプレミアム商品券発行事業でございます。その下の2件は、実施中及び実施済みの事業でございます。次に、④省エネ家電等への買い換え促進による生活者支援でございます。こちらは9月補正で予算を追加いたしました省エネ家電（冷蔵庫）の買い換えを支援するもので、実施中の事業でございます。

8ページを御覧願います。次に⑤医療・介護・保育施設、学校施設、公衆浴場等に対する物価高騰対策支援でございます。1件目は、市が実施を予定いたします福祉事業所等物価高騰対策支援給付金で、市内の介護サービス児童福祉施設、障害者福祉サービスを実施する事業所に対し、支援金を給付するものでございます。その下の2事業は県事業で実施中の事業でございます。

9ページを御覧願います。次に、⑥農林水産業における物価高騰対策支援でございます。1件目は、市が実施を予定いたします農業経営者燃油高騰緊急支援事業で、農業経営者に対し燃料高騰分を支給するものでございます。2件目は、市が実施を予定いたします畜産経営緊急支援事業で、畜産農家に対し支援金を支給するものでございます。3件目は、県が実施いたします農業共同利用施設省エネルギー化緊急対策事業費補助で、太陽光パネルの設置等に係る経費の一部を補助するものでございます。その下2件、及び次のページの2件は、国県の実施中の事業でございます。

11ページを御覧願います。次に⑦中小企業等に対するエネルギー価格高騰対策支援でございます。1件目は、市が実施を予定いたしますエネルギー価格高騰緊急支援給付金で、市内事業者に対しエネルギー価格上昇分の一部を給付するものでございます。2件目は、市が実施を予定いたします省エネルギー対策推進事業で、市内事業者及び商店街等の照明機器のLED化に対し、補助するものでございます。そして、その下の4件は市と県の実施済み、または実施中の事業でございます。

12ページを御覧願います。次に、⑧地域公共交通・物流や地域観光業等に対する支援でございます。1件目は、市が実施を予定いたします一般旅客自動車運送事業者運行支援事業で、交通事業者に対し運行支援金を支給するものでございます。その下3件は、県の事業で実施中のものでございます。13ページを御覧願います。この表は、臨時交付金の推奨事業メニュー分を活用して実施を予定している事業をまとめた表でございます。12月定例会の初日に議決した事業、今後予算化して実施しようとするものを含めて、総額4億3000万円ほどとなっております。

本日は、現在、市が予定している物価高騰対策支援事業の概要につきまして、御説明をさせていただきました。説明は以上となります。よろしくお願いいたします。

○議長（橋本久夫君）

はい。ただいま説明が終わりました。この件について何か質問があれば、挙手を願います。それでは、松本議員。

○19 番（松本尚美君）

はい本定例会議の初日に対策って言いますかね、これはもう既に議決済みの部分、それから、これ最終日ですか、今定例会最終日に提案をして補正予算といいますかね、予算を提案したいという部分を含んでるということでしたけども、まずちょっと確認したいのは、2 ページですね、2 ページの交付限度額が示されております。トータルとすれば5 億 5000 万ばかりなんですけれども、まず初日に低所得世帯支援枠、これは大体4 億くらということなんですが、これはもう全てといいますか、もう初日の部分に充当してるので、今後新規にやる部分の財源にはならないという理解でよろしいですか

○議長（橋本久夫君）

田代財政課長。

○財政課長（田代明博君）

はい。初日、そうですね、御議決いただきましたものにまず充当してございます。ただ今回先ほどの説明のほうにもございました。今回ここに書いてございます4 億ちょっとというのはその8 割相当分で概算で総事業費の8 割相当分ということで概算できてございますので、かかった費用については、後で精算になって10 分の10 で入ってくるというふうに認識してございます。

○議長（橋本久夫君）

松本議員。

○19 番（松本尚美君）

はい、分かりました。そうしますと、ちょっとトータルの話なんですけども、国から5 億 5000 万ばかり手当がある。そして、もう既に議決のものもある。あとは新規にやる部分がある。このトータルの財源として、1 番最終のページ見ると4 億何ぼでしたっけ。3000 万ぐらいでしたか。4 億 3000 万ぐらい、この財源には、この国からの臨時交付金は幾ら手当てするんですか。

○議長（橋本久夫君）

箱石企画課長。

○企画課長（箱石剛君）

はい、13 ページの総括表、こちらにつきましては、あくまでも推奨事業メニュー分ということになりますので、1 億 4742 万円が限度額と示されておりますので、ここに充当できるのはあくまでも1 億 4742 万円になります。

○議長（橋本久夫君）

松本議員。

○19 番（松本尚美君）

そうしますと、残りの2 億 9000 万円ばかりですか。これは、財調から出すということでしょうか。

○議長（橋本久夫君）

田代財政課長。

○財政課長（田代明博君）

はい。御指摘のように財調で手当てするという予算案をこの後、上程させていただくというふうに考えてござ

います。

○議長（橋本久夫君）

松本議員。

○19 番（松本尚美君）

はいあくまでも財調なんで、これは国からは当然、限度額がさっき 1 億 4000 万ばかりということですから、補填されないということで理解をいたしました。それから、すいません。ちょっと待って。宮古市が新規にやろうとしている部分、例えば 12 ページですね。県のバス事業者タクシー事業者、貸切りバス事業者がそれぞれ県で実施されて、今もやってますよということなんですが、これに新たに宮古市は、一般旅客自動車、要はちょっと名称が変わってますけれども、ここにかぶさってくる、この県がやってるのに、ほぼかぶさるという理解でしょうか。

○議長（橋本久夫君）

多田企画部長。

○企画部長（多田康君）

はい、表現でございますが、かぶさるというよりは県の算定方法が、事業者 3 分の 1、県 3 分の 1、それから市町村が 3 分の 1 として算定をされてございますので、その 3 分の 1 相当分を今回計画しようとするものでございます。

○議長（橋本久夫君）

松本議員。

○19 番（松本尚美君）

なるほどそういうことですね、分かりました。ちょっと見た感じではね、どのように負担割合とか何かがないので、これは上乘せなのかなってという理解をしたんで確認をさせていただきました。それから 11 ページの 1 番上段にありますエネルギー価格高騰緊急支援給付金（推奨事業メニュー）に基づいて、1 億円。それから 2 段下に実施済みですね、燃油・物価高騰対策緊急経済対策事業、前年度から繰越し事業として、中身を見れば大体同じような雰囲気かなというふうに見えるんですけども、これは前段で実施済みのものにプラスなのか、また要件とかそういったものが変わって、別枠になるのか、そこはどう整理されているんですか。もう少し本当はこれ中身がね、要件も含めて、個別に分かればいいんですけど、ちょっと確認をしたいです。

○議長（橋本久夫君）

岩間産業振興部長。

○産業振興部長（岩間健君）

はい、お答えいたします。実施済みの令和 4 年度から繰越した事業については既に終了しております。エネルギー価格高騰緊急支援給付金という名称で実施済みです。これについては、今回提案しようとするものは第 2 弾に近いものでございますが、先般の議会の産業建設常任委員会から提言書をいただきました中に、エネルギー価格についてちょっと要件緩和をしてほしいという内容もありましたので、若干第 1 弾とは違って要件について今、緩和といいますか、少し拡充したいなという検討をしているところでございます。制度の設計はこれからでございますけれども、第 1 弾で行いました売上げ営業利益率とかですね、売上げ総利益率という指標のみではなくて、もうちょっとより多くの皆様にちょっと御支援させていただけるような中身を今検討中でございます。ちょっと名称が違って見えますが第 2 弾で要件を少しさらにちょっと事業者の皆さんの声を聞いて、設計していきたいと

いう内容でございます。

○議長（橋本久夫君）

松本議員。

○19 番（松本尚美君）

はい。第2弾であれば第2弾で、何も事業名変えなくても、わざわざ変える必要があるのかなっていう思いもあるんで、要件の部分にも今、部長触れましたけれども、額も当然これ、6400万円ばかりから1億円を見込んでやりますから、どうなるんだろうな、額が増えるのか中身がどうなのかっていうのは分からないんですが、この定例会議最終日だとすれば、20日が最終日ですね、検討中ということですが、要するに予算だけ通してっていう話なのか、それとも、要件はこういう要件ですよっていうのを示して、提案するのか、そこはどうなんですか。

○議長（橋本久夫君）

岩間産業振興部長。

○産業振興部長（岩間健君）

はい。これまでこちらの宮古市では暮らし経済対策本部会議を10月に再度立ち上げまして、コロナ禍から今度は物価燃油高騰というフェーズになっております。その中で、私ども産業振興部を中心として、様々な業種の事業者さんに各種調査をさせていただき、議会からも提言書をいただき、商工会議所からも、要望書をいただく中で、事業についての絞り込みを、この段階ではある程度させていただきました。ただ、制度をどう、細かいところを、いわゆる補助金交付要綱という形には最後になるんですが、その部分について、今まさに検討中でございます。ただ、予算の積算につきましては、前回の経験を踏まえましてですね、1事業者当たり平均これ位という給付というのをある程度把握させていただいておりますので、それを参考にして、概算でございますが予算をお認めいただく中で、細かいところはもうちょっと検討させていただきたいということでの提案というふうに私は考えております。

○議長（橋本久夫君）

松本議員。

○19 番（松本尚美君）

はい、分かりました。本来であれば、緊急なんでね、なかなかこう検討するいとまが少ないっていう部分があり、また今までやっている部分の内容を精査して、それに要件緩和も含めてプラスしていきたい、そんな思いは分かるんですが、全くの白紙委任状ではないというのも分かりましたから、いずれこれ早く、どう対応するのか、中身がやっぱり見えないとね、いけないのではないかなと。白紙委任状ではないというのは分かりましたけれども、いずれ、緊急ということですから、一体じゃあ、12月今月中にね、20日に議決して対応できるのかどうか、年を越すのかも含めてですね、やっぱりそこはもう少し見えればいいかなあという思いがしております。

それから、9ページですね。これの農業経営者に関してそれから畜産経営、農業共同利用施設を県の部分が増えられているんですけれども、全体的にちょっとまだ詳しく分からないんですけれども、この農業畜産に関してですね、トータル的にいって、県がやる分については宮古市も当然これ、さっきの例を挙げれば、何分の一かは負担していくよと。市単独の部分については、それ以外の隙間、隙間って言い方変ですけども、そこを対象にするのかどうか、そこはどう理解すればいいですか。

○議長（橋本久夫君）

岩間産業振興部長。

○産業振興部長（岩間健君）

はい。農業全般について今回提案をさせていただきたいと思っております。畜産に関して、まず最初に畜産に関してでございますが、これは今回、新規で出させていただきました。燃油高騰物流コストの上昇によって粗飼料、配合飼料の高騰、市場価格の低迷という部分を受けまして、畜産農家に対して直接応援しようとするものでございます。これについては、今考えておりますのは、乳用牛・肉用牛を飼養している、飼っている農業者等、農業法人等に対する、1頭当たり幾らということでの給付の仕方を今考えておるところでございます。県が実施しようとするもの、または実施中のものは、粗飼料そのものの購入費等の一部ということで、ダブるっていうか整合はとっておりまして、上乗せとかですね、ダブるということではなく、支援したいと思っております。もう一つ農業経営者の燃油高騰緊急支援事業は先ほどのエネルギー価格高騰と同様にですね、シイタケ農家も含めてですね、やはり燃油の部分の負担が非常に大きいということで実はこれは、本年、昨年度の2月、3月に緊急で、宮古市単独でやった事業の第2弾となります。同様の事業になりますが、他の関係団体、または国県の実施する対策とは整合をとりながらですね、そちらの寄附を受ける場合はこちら受けられないということで、その差額を出すとかということで、併給の調整というのをしながら、また第2弾としてやらさせていただきたいという内容で考えてるものでございます。

○議長（橋本久夫君）

松本議員。

○19番（松本尚美君）

はい。私が表現した隙間といいますかね、手当てが出来てない部分、ここに宮古市が着目してそこをカバーしているという考え方でしょうかという部分なんです、それでよろしいですか。

○議長（橋本久夫君）

岩間産業振興部長。

○産業振興部長（岩間健君）

おっしゃるとおりでございます。

○議長（橋本久夫君）

松本議員。

○19番（松本尚美君）

いや全部あれだ、次、控えてる方がいらっしゃるんですが7ページですね。県が実施予定の12月補正ということで、これは新聞でも出ましたんで、どうなのかなあと思ってるんですが、こういった部分に関しては、この賃上げですね、賃上げに関しては宮古市は、負担はするんだけど、かさ上げといいますか上乗せは基本的にしないという前提で今進んでるということですね。

○議長（橋本久夫君）

岩間産業振興部長。

○産業振興部長（岩間健君）

はい。県が先般議決いたしました岩手県物価高騰対策賃上げ支援費というものにつきましては、21億という予算を全県的に展開していただくという情報をいただいております。制度の設計はこれからと聞いておりますが、御承知かと思いますが、1時間当たり50円という単価で賃金を上げるということで、年間1人当たりの従業員の方の賃金を想定し、その2分の1相当を1事業者当たり20人分支給するというので、この物価高の最中に

ですね、この賃上げについて背中を押そうという支援だというふうに確認しております。宮古市においては、これについての嵩上げとかですね、横出しとかっていう考え方はございませんで、全県一斉に取り組む中で事業者の皆様の反応を見ながら、反応について確認していきたいなと、賃上げの実態等も確認していきたいなというふうに考えております。

○議長（橋本久夫君）

松本議員。

○19 番（松本尚美君）

はい分かりました。その下ですね地域内経済循環促進事業プレミアム商品券ですね。第5弾ぐらいなのかな。6弾。はい。中身については、何かアンケートだか資料ついてますが、これを見ながら、まだ中身が示されてませんけれども、どう実施するのかっていうのは示されてませんけれども、これだいたいでも、どこどこがどう違うのか。例えば第5弾までと今回第6弾、どこが何か変わるっていう点、そこがあれば、まず教えてください。

○議長（橋本久夫君）

岩村産業振興部長。

○産業振興部長（岩間健君）

はい。これも正直申し上げますと、エネルギー価格高騰の支援金と同様で制度設計をコンクリート固めてるところではございませんで、今日、本日皆様にお渡ししたアンケート、回答数が105ということで非常に少ない部分だとは思われますけども、過去に数回、アンケート調査をしておりました。この内容の声を反映させた内容にしたいっていうので今ちょっと苦労してるところでございます。こっちを立てればこっちが立たないっていうくらいですね、非常に難しいのがこのプレミアム商品券の仕組みでございます。特に今回配慮したいと思ってるのは、プレミアム商品券販売をいたしますけども、購入出来なかったっていう声を今回のアンケートでは顕著に強く回答を得ております。また、あとはですね、今まで大型店、中小専門ということで複数の券を発行したんですが、最初の頃は戸惑いがあった、面倒くさいなって声があったんですが、定着してきたというのが読み取れます。また、販売もそうなんですが、使用できる期間の長さについてもアンケートしております。

また、これは大きな問題だと思いますが紙媒体、あとは電子ポイント還元という様々な方法があるんですが、今なお、複数回答でございましたけども、7割を超える方々がやはり紙媒体がいいというのが宮古市の現状でございます。それがこれだとですね、あとは実施時期についても、消費がどの時期で、今回のですね、下支えということで考えまして、コロナ禍の最初のあたりは、小売店飲食店舗にお客様が外向かないので事業者向けの支援というのを胸に考えておりましたが、今回は物価高騰ということで、特に、前回利用が多かった日用品の買物、これが多かったというのが顕著に出ておりますので、やはり、様々な食料品等の物価の高騰を応援するという生活者支援の面で、プレミアム率ですとか、そのような部分を、あとはより多くの方々に購入いただきたいということを念頭に、固めていきたいというのが今回のポイントでございます。

○議長（橋本久夫君）

松本議員。

○19 番（松本尚美君）

はい第1弾から第6弾、今度6弾なんですけども、今までやった経験則、アンケートを含めて、どう次に対応していくかってことなんだろうと思うんですけども、今物価高騰というのは何も食料品だけではないんです。全般にわたっているわけですね、地域内経済循環ということになれば、当然、それ、食料品以外ですね、耐久

消費財を含めてですね、そういったものも物によってはですね、それは買い控えをするという部分は当然ありますね。高額商品になればなるほど。がしかし、ライフラインを支える部分、要するに生活を支えるという部分では、はっきりこの分野では頭にありますけれども、言及はしませんけれどもね、やっぱりそういった部分にも回っていきけるかどうか。要するに、トータルの発見枚数といいますか金額、これにも当然よるわけですね。だから、物価高騰というのは何も食料品ではない。やはり、耐久消費財を含めてライフラインを支え、生活を支える分野もある。そこをどう対応できるのかっていうこともね、もう少し念頭に置いていただければなという、この額で足りるかどうかという問題も当然ありますね。1人当たりの購入枚数とかですね、金額とかっていうのにも当然出てきますけれども、ある程度高額商品になると、だんだんだんだん第4第5弾、ほとんど回ってこないですね、回らない。ほとんどが食料品系に行ってしまう。

それからコロナでもう一つあったのは、やはり飲食店関係がどうなのか、パーセンテージ低いですよっていうこともね、当然念頭にあらうかというふうに思いますから、ぜひそういう、この額でいいのかも含めてですね、やはり私はもっと広く考える必要があるんじゃないかという指摘を、意見を申し上げさせていただきたいと思います。

それから、これは全般的な話になるんですけども、新聞報道なんかでは、低所得世帯を、非課税世帯といいますかね、そこをサポートするというのは否定はしていないんですけども、否定しないことが前提で、これをちょっとでも外れて上回る人たち、ここが外れてしまう対象にならない。これが不公平感があるという声もね、紹介されてましたね。これは国の部分もあるんで、市だけでは当然ないわけですけども、やっぱりその部分もね、いわゆる中間層っていう表現してましたけれども、やっぱりその配慮というものをどうするのかというのがなかなか見えない。これがプレミアムの部分で、これが該当するのかどうかというのもありますけれども、やっぱりトータルのこの緊急対策として、国県市それぞれあるかもしれませんし、国が基準になって、ほぼ100パーセント負担、国がやる施策もあると思うんですけども、そういったものを見ながらトータルのパッケージ、さっき言ったようにですね、業種も含めてですね、やっぱり配慮すべきじゃないのかなというのは、最後意見として申し上げたいんですが、どうでしょう。

○議長（橋本久夫君）

岩間産業振興部長。

○産業振興部長（岩間健君）

はい。これまでのプレミアム商品券を例に申し上げますと、1セット4000円であったり5000円であったり、この金額が本当に大変な思いをして買われる方がいらっしゃいます。一つの事例で申しますと、前々回は整理券方式を、引換券方式でやっておりましたけども、4セットまで1度に入りますという仕組みにしたんですが、やはり4セット1度に入ることがなかった方々も結構いらっしゃったと。そういうことを考え、そういうところもちょっと頭に考えながら、でもやはり、少しこの際、ちょっとぜいたくかもしれないけど、こういうものを買いかえたいなあ買いたいなあという購買意欲といいますか、そういう声も非常に根強くあります。非常に一つの施策で全ての皆様に応援をできる制度かというところは難しいところを、これまで5回やって感じておりますが、今の御意見は御意見として受け承って、また、この事業を通して、または今後制度をつくろうとするときの参考にさせていただきたいと思います。

○議長（橋本久夫君）

落合議員。

○18 番（落合久三君）

1 点だけ。13 ページに、要するにこの 13 ページに、物価高騰対応重点支援地方調整臨時交付金、新しい名称、5 類に移行したもとのこういう名称になった（推奨メニュー）、要するにここに書いてある生活者支援事業者支援、この中で推奨事業メニューですから、低所得者支援のは、事実上既に議決済みだという意味でね、議会の最終日 20 日の日に提案されるのはこの 13 ページに載っているものだっていうふうに思いたくなるんですが、そういう理解でいいんですか。

○議長（橋本久夫君）

田代財政課長。

○財政課長（田代明博君）

ではちょっと予算の話になりますが、この場をお借りして御説明をいたします。13 ページ事業のほうに並んでございますが、ちょっと除くほうが分かりやすいので上から一つ二つと物価高騰、4690 万 4200 万にがしというのにつきましては、9 号補正初日に御議決いただいておりますのでそういう意味ではこれはもう、形になっているものでございます。もう一つだけ、1 番下の一般旅客自動車運送にがし 6000 万にがし万というのがございますけれどもここに内訳がございまして、先ほどの予算委員会、これは 10 号補正のほうで御審議いただきました三鉄支援分がこの中に、1800 万ほど入っております。今言った三つを除いたものが、20 日に提案をするというような予定になってございます。

○議長（橋本久夫君）

落合議員。

○18 番（落合久三君）

そうだと思います。生活者支援の区分の①は文字どおり低所得者支援だということと、最後に言った。1 番下のを除いたのが提案されると。そこでもう 1 点だけ、今日は全員協議会ですので、20 日の本会議に当局が提案する補正は、改めて、当然、20 日の冒頭になるのか、一切が終わってから、なんのかはそこら辺の技術的なことは議運が、決めるわけですが、改めて本会議で説明があると、今日のは、あくまでもこういうことを考えているよと。少し頭の中に入れておいてくださいっていう意味だと思って聞いているんですが、つまり、より精査したものが本会議では提案される。いや、それはもう全協で説明済みだよっていうことがないようにという意味で聞いているんですが、そういう扱いで受け止めていいんですか。

○議長（橋本久夫君）

答弁は、下島野総務部長。

○総務部長（下島野悟君）

はい。今日はこの支援事業の概要について御説明させていただきました。それで基本的に予算の説明はしないという取決めがある中で、20 日の日には、提案とともに提案理由の説明をさせていただきますし、事業の説明資料ですか、毎回つけさせていただいてますけども、それらも添付させていただきたいと思っております。

○議長（橋本久夫君）

そのほかございませんか。はい。ないようでございますので、これで質疑を終わります。それでは説明員は退室してください。お疲れさまでした。

〔説明員退席〕

○議長（橋本久夫君）

ただいま説明のあった事業を含む一般会計補正予算につきましては、この後開かれます議会運営委員会において取扱いを協議願いたいと思います。それでは、また、本日、パレスチナ自治区ガザ地区における即時かつ持続的な人道的停戦を求める決議の提出についての決議案が、松本議員を含む３名より提出されました。この件についても、この後の議会運営委員会で取扱いを協議していただきますが、今定例会議で審議する場合には、最終日の議事日程に加えることになりますので、議員の皆様は明日以降、タブレットのカレンダーで確認するようお願いをいたします。予定していた事項はこれで終了いたしますが、その他に移ります。皆様のほうから何かございませんか。はい。なければこれをもちまして議員全員協議会を閉会いたします。大変お疲れさまでした。

午後３時２７分 閉会



宮古市議会議長 橋 本 久 夫